

Marking Think Tool syphon

((



arnwark

目次

1. ツールについて	2
2. 記述方法	3
3. 記述例	4

1. ツールについて

Marking Think は、考えが浮かぶごとに文字の代わりにマークを記していくという思考方法です。文字を書くより気軽に考えることができ、また割と簡単に要点を押さえるというメリットがあります。

syphon は分類した感情の強さを意識して考えるツールです。

考えの根本にある感情が外向きか内向きか、かつ正か負かを判定し把握することで思考のバランスをとっていきます。

考えが浮かばないときは、先にそのときの感情を記述し、それを元に考えるといいかもしれません。

2. 記述方法

- (1) 8～16×6のマスを作成します。フリーハンドでかまいません。
- (2) 左の列から右の列へと記入していきます。
- (3) 一行目には考えが浮かぶごとに通常は○を、重要な事柄には●を設定していきます。
- (4) 感情が絡む事柄には同列の二行目から六行目に、そう感じる強さの数だけ1～5の範囲で、感情の分類を上詰めで設定します。
- (5) 外向きで正の感情は▲、外向きで負の感情は△、内向きで正の感情は▼、内向きで負の感情は▽です。
- (6) 色々な感情を元に考えを出してください。

3. 記述例

- (1) 古くても良いものが失われていくのはさみしい
(内向き・負・4)

○							
▽							
▽							
▽							
▽							

- (2) 一方で古いものを再生しようとする試みもみられる (外向き・正・1)

○	○						
▽	▲						
▽							
▽							
▽							

(3) それは感覚的な事だけかもしれない(外向き・負・3)

○	○	○					
▽	▲	△					
▽		△					
▽		△					
▽							

(4) 何が良かったのかは理解できていないだろう
(外向き・負・2)

○	○	○	○				
▽	▲	△	△				
▽		△	△				
▽		△					
▽							

(5) とはいえ感覚が本質を連れて来るといってもある (なし)

○	○	○	○	○				
▽	▲	△	△					
▽		△	△					
▽		△						
▽								

(6) けれどその感覚が当時のものと同じものか判別することは難しい (なし)

○	○	○	○	○	○			
▽	▲	△	△					
▽		△	△					
▽		△						
▽								

(7) 断片的でなくもっと包括的に再生すべきかもしれない (重要・外向き・正・3)

○	○	○	○	○	○	●	
▽	▲	△	△			▲	
▽		△	△			▲	
▽		△				▲	
▽							

(8) 座卓の生活をする (内向き・正・5)

○	○	○	○	○	○	●	○
▽	▲	△	△			▲	▼
▽		△	△			▲	▼
▽		△				▲	▼
▽							▼
							▼

表題 Marking Think Tool syphon
著作 arnwark
第一版 2024年10月24日

Marking Think Tool syphon

著 arnwark

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
